

令和5年度 第2回宮崎県立農業大学校外部評価委員会 議事録

令和5年度第2回宮崎県立農業大学校外部評価委員会を開催しましたので、お知らせいたします。

会議の概要

1. 日時

令和6年3月14日（木）14:00～16:00

2. 場所

宮崎県立農業大学校 会議室

3. 出資者

- (1) 外部評価委員 8名（10名のうち2名欠席）
西田和夫委員長、黒木覚市委員、坂本康子委員、児玉亜沙美委員、爰野敬典委員、高橋寛委員
濱本明俊委員、馬場勝委員
- (2) 県立農業大学校職員 11名
校長、副校長（総括）、副校長（教育）、総務課副主幹、農学科長、農学科教授、畜産学科長、
畜産学科教授、教務学生課准教授（2名）、教務学生課主任技師

4. 議事の内容

【説明】本年度の教育活動の成果について（事務局より）

【協議】自己評価に対する外部評価委員の評価

5. 要旨（委員からの主な意見）

- (1) 評価項目や評価方法について
 - ・数値目標を含め設定が高くなっているためか、評価が厳しいように思うため、より検討をした方が良い。
 - ・講義や実習における成果の一部で、成果目標が学生を対象にしていたものが、職員の成果内容が示されているものがあつたので、設定の見直しをした方が良い。
- (2) 教育内容や学生指導等について
 - ・連絡用として活用しているメールにはどのような内容を記しているのか。
→学校生活情報や求人情報など学生の生活に直結する情報を流している。
 - ・女子寮の部屋数が少ないと思うが、どのように対応しているのか。
→アパートや自宅からの通学生がいるため、今年度に限っては2人ずつ入居してもらうことで対応しているが、年々女子学生も増える傾向にあるため、今後も検討が必要である。
 - ・学生確保についての課題を教えてください。
→情報をタイムリーに発信し、普通科高校からの学生も確保できるよう仕掛けが大事であると思っている。
 - ・県外から9名の学生がくることは、宮崎県に魅力があるためではないかと思う。これからも引き続き県外生を誘致してほしい。
 - ・インターンシップなど研修の成果が直接読み取れないが、どのようなものなのか。また、研修先からの評価はあるのか。
→自分で研修計画をたてる自主企画研修の準備期間を前倒しして、研修先の選定に尽力できるように行った。研修先からの評価もいただいており、学生の成績に反映している。研修先評価の中で、特に問題がある内容は記入されていなかった。
 - ・学生による授業評価はどのように実施したのか。

→開講している授業ごとにアンケートを行っている。

- 就農対策において、「①年内の進路決定100%」や「②就農者及び農業関連産業就職者の進路選択率100%」はどのような成果が得られたのか。

→①について、農学科は約70%の達成率に対し、畜産学科は100%を達成している。②について、両学科ともに100%に達していない。